

PRESS RELEASE

**業務中のメール誤送信経験は管理者が 55.1%、従業員で 46.6%
誤送信に気付くタイミングは、送信直後・10分以内が半数、30分以内
が 70.0%以上を占める【国内企業・団体の誤送信の実態を調査】**

情報セキュリティメーカーのデジタルアーツ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:道具 登志夫、以下 デジタルアーツ、証券コード 2326)は、国内企業・団体の従業員と情報システム管理者 1,500 人を対象に、勤務先におけるメール誤送信の実態調査を実施しました。

昨今、テレワークの常態化など働き方が変化する中で、メール誤送信によって機密情報や顧客情報といった重要情報が漏えいし、悪用される事例もあることから、情報漏えいの主な原因となるメール誤送信の実態について調査しました。

誤送信経験者は管理者が 55.1%、従業員で 46.6%

2023年のメール誤送信調査において、業務中にメールを誤送信した経験が「ある」との回答の割合は 47.8%でした。このうち、管理者では 55.1%、従業員で 46.6%が誤送信の経験があることがわかりました。

2019年の調査結果と比較すると、両者ともにメール誤送信経験が「ある」との回答は減少傾向にはあるものの、依然として半数近くは誤送信をしている状況であり、引き続き対策を行っていく必要があると考えられます。

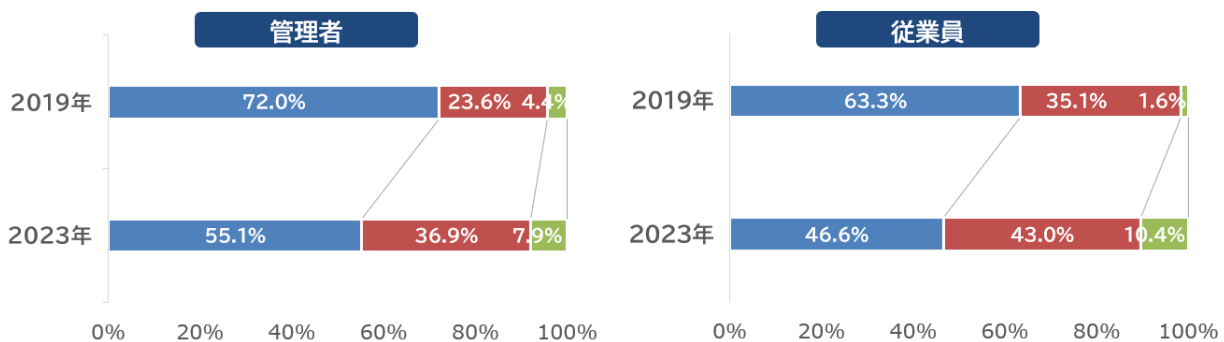
調査結果



Q 自身または従業員が業務中にメールの誤送信をした経験はありますか? <単一回答>

管理者/従業員

■ある ■ない ■答えられない



誤送信の内容は、管理者・従業員のどちらも「宛先を間違える」、「添付ファイルを忘れる」、「メール本文の誤字脱字」、「添付ファイルを間違える」、「本文が作成途中のまま送ってしまった」が上位 5 位となっています。

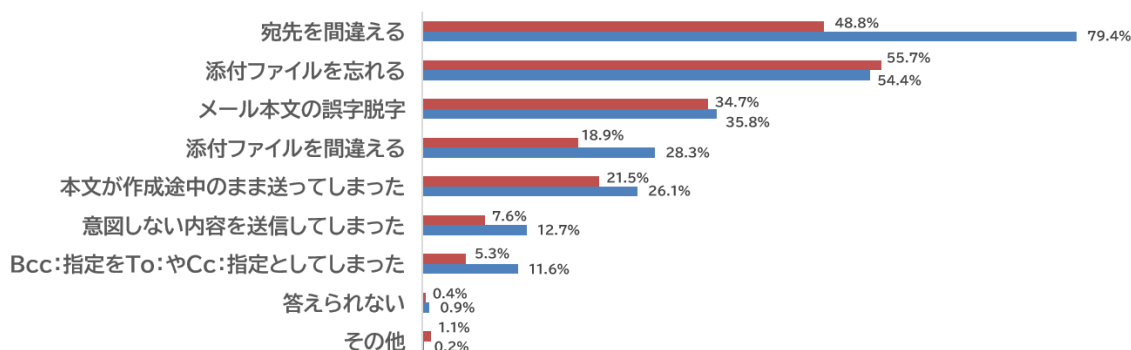
従業員においては、「宛先を間違える」の回答が 79.4%と最も多く、前回調査から約 30 ポイントも増加しました。「宛先を間違える」、「添付ファイルを間違える」、「Bcc:指定を To:や Cc:指定としてしまった」など情報漏えいに直結する誤送信は前回調査より大幅に増加しています。

調査結果

Q 誤送信の内容はどういったことですか？ <複数回答>

従業員

■2019年 ■2023年



誤送信に気付くのは本人が70.0%以上、10分以内に誤送信に気付く割合は50.0%以上

管理者は72.9%、従業員は84.1%と管理者・従業員ともに、70.0%以上が自身で誤送信に気付いていることがわかりました。どのタイミングで誤送信に気付いたかについては、従業員では「送信ボタンを押した直後」が40.2%、「10分以内」が28.9%と、10分以内に誤送信に気付く割合が69.1%であることがわかりました。管理者でも58.4%が10分以内に気付いています。管理者・従業員ともに、30分以内に気付く割合は70.0%以上となることから、送信から30分以内が最も誤送信に気づきやすいものと考えられます。

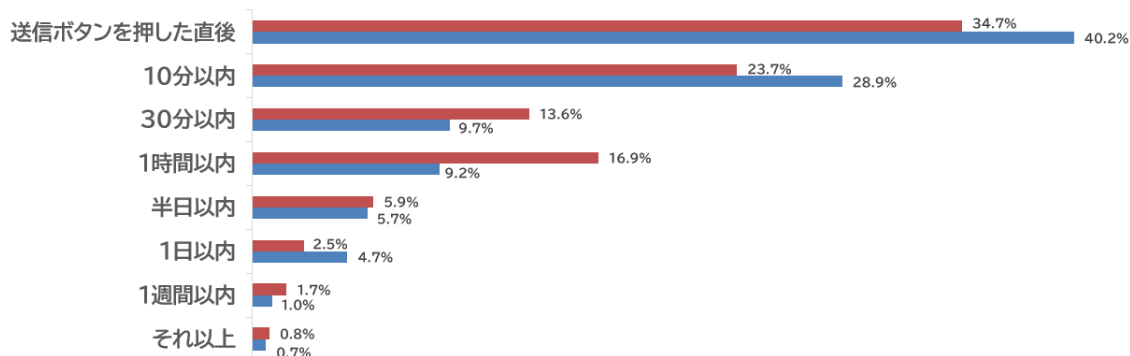
一方で、「半日以内」を超える回答割合は管理者・従業員も急激に減少するため、「半日以内」を超えてしまうと、発生した誤送信に気付くことが困難になる可能性が高いと考えられます。

調査結果

Q “New” どのタイミングで誤送信をしてしまったと気づきましたか？ <単一回答>

管理者/従業員

■管理者 ■従業員



誤送信対策ソフトを「導入している」管理者と比べ、未導入の管理者の誤送信経験は約3倍

誤送信対策ソフトの導入は「導入する予定」が14.0%、「導入していない」が43.9%と、調査時点で57.9%が未導入であることがわかりました。誤送信対策ソフトを「導入している」管理者では22.0%が誤送信経験ありと回答していますが、未導入の管理者では66.1%が誤送信経験ありと回答しています。「導入している」管理者と比べ、未導入の管理者の誤送信経験は約3倍となっていることから、誤送信対策ソフトの導入は誤送信のリスクを大幅に軽減できることがわかります。

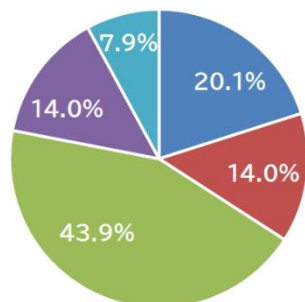
調査結果

Q 所属している会社ではメールの誤送信対策ソフトは導入されていますか？ <単一方式>

管理者

■ 導入している ■ 導入する予定 ■ 導入していない ■ わからない ■ 答えられない

<誤送信対策ソフト導入状況>



<管理者における誤送信の経験に対する誤送信対策ソフト導入状況>

	誤送信経験がある
■ 導入している	22.0%
■ 導入する予定	22.9%
■ 導入していない	43.2%
■ わからない	10.2%
■ 答えられない	1.7%
合計	100.0%

また、社外とのメール送受信に関するルールについて、「特になし」と回答した管理者の 24.8%を除き何らかのルールがあると回答している一方、従業員の 48.1%が「特になし」と回答していることから、社内で規定されているメールの送受信に関するルールが従業員に十分に認知・徹底されていない可能性が考えられます。

誤送信対策は、社内ルールだけに頼らず対策ソフトの利用など適切な対策が重要

メール誤送信の経験は、管理者・従業員ともに前回調査と比較して減少しているものの、約半数は依然としてメール誤送信を経験している状況です。特に従業員においては、「宛先を間違える」、「添付ファイルを間違える」、「Bcc:指定を To:や Cc:指定としてしまった」など、情報漏えいに直結する誤送信が前回調査より大幅に増加しており、情報漏えいを防ぐための誤送信対策は急務と言えます。

メール送受信に関する社内ルールについては、管理者のほとんどが何らかのルールがあるとしている一方で、従業員の約半数がルールは特になしと認識しており、認識の乖離が大きいことからルールだけの対策は難しい状況が伺えます。また、誤送信対策ソフトは 57.9%が未導入であり、誤送信対策ソフトを導入している管理者と比べ、未導入の管理者の誤送信経験は約 3 倍となっており、誤送信を防ぐには社内ルールだけに頼らず対策ソフトを利用するなど誤送信に対する適切な対策が重要であると考えられます。

デジタルアーツでは、メール誤送信対策製品として「m-FILTER MailAdviser」を提供しています。メール送信時にポップアップ画面を表示し、誤送信チェック作業をメール送信者に促すことで、従業員の誤送信防止意識の向上に役立つ製品です。

デジタルアーツは今後も定期的に行う情報セキュリティに関する調査を通じて、経営の根幹を揺るがしかねない情報漏えいを防止するための注意喚起をし続けるとともに、お客様の情報資産を守るためのソリューションの開発に尽力してまいります。

▼資料の詳細はこちら▼

https://www.daj.jp/shared/php/downloadset/c/parts.php?page=dl&filename=whitepaper_wrongsend_atwork_survey_2023.pdf

【調査概要】

調査内容	勤務先におけるメール誤送信の実態調査
調査目的	テレワークの常態化など働き方が変化する中で、メール誤送信によって機密情報や顧客情報といった重要情報が漏えいし、悪用される事例もあることから、従業員側と情報システム管理者側に実態調査を実施
調査方法	インターネット調査
有効回答数	1,500件
調査実施期間	2023年4月21日～2023年4月23日
調査企画	デジタルアーツ株式会社
調査委託先	株式会社クロス・マーケティング

■「m-FILTER MailAdviser」とは

「m-FILTER MailAdviser」は、ポップアップ型メール誤送信対策製品です。メール送信時にポップアップ画面を表示し、誤送信チェック作業をメール送信者に促すことで、従業員の誤送信防止意識の向上に役立ちます。

<https://www.daj.jp/bs/ma/>

デジタルアーツ株式会社 概要

Web、メール、ファイルなどのセキュリティソフトウェアの提供を核に事業展開する情報セキュリティメーカーです。

1995年の創業以来、「より便利な、より快適な、より安全なインターネットライフに貢献していく」を企業理念とし、有害情報の閲覧を制限するWebフィルタリングソフトを開発、以来企業・公共・家庭向けに情報セキュリティ製品を提供しております。

東京都千代田区大手町 1-5-1 大手町ファーストスクエア ウェストタワー14F ▶URL: <https://www.daj.jp/>

<本リリースに関するお問い合わせ>

デジタルアーツ株式会社 広報課 石井 TEL : 080-8750-0425 / E-mail : press@daj.co.jp

- ※ デジタルアーツ、DIGITAL ARTS、i-FILTER、i-FILTER Anti-Virus & Sandbox、i-FILTER@Cloud Anti-Virus & Sandbox、i-FILTER@Cloud D アラート発信レポートサービス、info board、Active Rating System、D-SPA、Anti-Virus & Sandbox for D-SPA、NET FILTER、SP-Cache、White Web、ZBRAIN、クレデンシャルプロテクション、ホワイト運用、m-FILTER、m-FILTER MailFilter、m-FILTER Archive、m-FILTER Anti-Spam、m-FILTER Anti-Virus & Sandbox、m-FILTER@Cloud Anti-Virus & Sandbox、m-FILTER@Cloud D アラート発信レポートサービス、m-FILTER File Scan、Mail Detox、m-FILTER EdgeMTA、EdgeMTA、FinalCode、i-フィルター、DigitalArts@Cloud、Desk、Desk Event、f-FILTER、D アラートおよび D コンテンツその他の弊社・弊社製品関連の各種名称・ロゴ・アイコン・デザイン等はデジタルアーツ株式会社の登録商標または商標です。
- ※ その他、上に記載された会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。